

小学生・中学生の皆さん
新しい活動がはじまります!!

子どもから
大人まで

しょうがくせい ねんせいいじょう ちゅうがくせいたいしょう
小学生（5年生以上）・中学生対象

ちくぜんまち ぶ (通称=ボラ部)
筑前町ボランティア部 がスタート!!

ぼしゅう し
メンバー募集のお知らせ

たの 楽しい♪ワクワク

いろいろひと 下 会おう!



たいけん 体験できる

つながる

まな 学び考える♪

ちくぜんまち 筑前町ボランティアセンターは、「できる人が できるときに できることを」を合言葉に
ボランティア活動を進めています。今年度から小・中学生を対象に新たなボランティア活動を
進めるために「筑前町ボランティア部」をスタートします。

ちくぜんまち 筑前町で 私たちができることを一緒に考え、学び合いながら「やってみたい!!」活動をカタチに
していきます。ボランティア活動に興味や関心がある人は、ボランティア部で一步をふみ出し、
いろいろな活動をやってみませんか。

活動期間 令和6年7月20日～令和7年3月末(年間10回程 土曜・夏休み等)

対象者 町内の小学5年生～中学3年生

定員 20人 ※定員になり次第締切り

活動内容 ① 活動ミーティング ② ボランティア活動 ※やってみたい活動をメンバーで話し合っ
て決めます。 ③ 手話体験講座 ④ イベント・行事の手伝いなど

活動場所 コスモスプラザ他・町内

申込方法 窓口・メール・QRコードからの申込み

申込期間 令和6年6月3日(月)～令和6年7月10日(水)まで

いっしょ 一緒に やってみよう!



もうし 申込み QRコード↑

いきいき♪ワクワクする♪
ボランティア活動をはじめませんか

ちくぜんまち 主催：筑前町ボランティアセンター(筑前町社会福祉協議会)

じゅうしょ 住所：筑前町篠隈373番地コスモスプラザ福祉館

TEL:0946-42-4555 FAX:0946-42-5941

メールアドレス:chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp (担当：林・平田)

New

ボランティアのはじめの一步を学び、
ボランティア活動を体験するための講座

「ボランティア入門講座&ボランティア体験」

興味や関心があり、はじめるきっかけとして、ボランティアの心構えや地域の活動を紹介した後、ボランティア活動が体験できる講座です。

日程 7月19日(金) 19:00~20:30

上記の講座後に、体験したいボランティア活動に参加できます。

体験日程は別途説明します。

場所 コスモスプラザ福祉館 会議室7

定員 20人

参加費 無料

身近で起こる災害への備えと
災害ボランティアの役割と心構えを知る・学ぶ講座

「災害ボランティア講座」

防災への意識向上や、身近に発生している災害に対してできる活動を知り・学び、もしもに備えて自分にできることを考えてみましょう。

日程 9月28日(土) 9:30~12:00

場所 コスモスプラザ生涯学習館 会議室1・2・3

定員 30人

講師 一般社団法人 螢火(うきは市)

参加費 無料

小・中学生の福祉教育(体験)を応援する
ためのサポーター養成講座

「福祉教育サポーター養成講座」

小・中学生を対象に実施する福祉教育(体験)のサポートとして関わってくれる人を養成します。福祉教育で大切な思いや、町内での取り組みを学びます。受講後は、小・中学校での福祉体験と一緒に活動します。

日程 9月6日(金) 10:00~12:00

場所 コスモスプラザ福祉館 会議室7

定員 15人 参加費 無料



福祉教育サポーターVoice

福祉体験から子どもたちの気づきや理解につながればという思いで活動をしています。私自身、毎回新たな発見があり刺激を受けています!



峯さん

New

子育て世代を対象に地域と「つながる」を
体験するためのワークショップ講座

「家族de作る・学ぶ」工作ワークショップ講座

夏休みの思い出や宿題として身近なものを使ったオリジナル作品をつくりまします。地域とつながる第一歩として、家族で楽しみまします!

日程 8月25日(日) 9:30~12:00

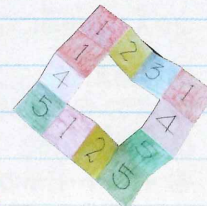
場所 コスモスプラザ生涯学習館 会議室1.2.3

定員 10組 参加費 1組200円(材料代)

講師 秋酔工作教室 もりかつひろ先生(朝倉市在住)

内容 絵パズル・色合わせ・すうじカードづくり

※小学生までが対象です。



作って、考えて、
遊んでみよう~♪

特集1

「学び」×「体験」

を通して、ボランティア活動に参加してみませんか

<講座等の対象者について>

町内在住・町内勤務の人
町内でのボランティア活動を
希望する人

<講座等のお申込みについて>

(締切り) 講座実施日の10日前まで ※定員になり次第締切り
(申込み方法) 電話(0946-42-4555)・窓口・QRコード→
メール(chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp)



子どもたちや地域とつながる団体紹介

昨年度新たにセンター登録した団体を紹介します。
活動への思いや楽しさ、やりがいなどいろいろなお話を伺いました。

いちご文庫 ～ちいさなちいさな家庭文庫～

代表 古賀 由香利さん

三輪小学校で読み聞かせ活動をしていたメンバーと、子どもたちの卒業後も一緒に活動ができればと5人で立ち上げました。筑前町の特産でもある「いちご」にかけて「いちご文庫」と名づけ、2016年から活動をしています。

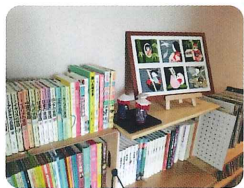
現在は、毎月1回三輪小学校内学童保育所とめくばー図書館で、絵本の読み聞かせを行っています。2019年から、祝日限定で、自宅に家庭文庫を開設し、約2,000冊の絵本たちが、子どもから大人まで心をワクワクさせ、ゆつたりとした気持ちにさせてくれます。毎月1回の定例会では、読み聞かせの絵本を選ぶだけではなく、メンバー同士の大切な交流の場にもなっています。

Q. 活動のきっかけを教えてください。

A. 楽しく、充実していた小学校での読み聞かせの活動が、子どもの卒業と同時に終わるのは「寂しいなあ」と思っていました。また、同じ思いを持っている人がほかにもいたら、もったいないとも思い、声をかけて「いちご文庫」を立ち上げたのが活動のきっかけです。

Q. これからの活動への思いを教えてください。

A. 文庫の活動を充実していきたいです。文庫へ気軽に来て、子どもたちだけでなく大人も、この空間が絵本、本、人との出会い、つながる場所となり、居心地の良い居場所づくりができればと思います。そして、おはなし会やイベントなども開催できればと思います。



筑前太鼓【和奏】 ～wakana～

代表 近藤 美和子さん

わたしたちは、2023年10月に結成した和太鼓チームです。団員は、小学生から大人まで幅広い年齢の15人が活動しています。毎週木曜日の夕方から約1時間半、楽しく真剣に稽古に励んでいます。稽古場は大己貫神社・地域の小学校体育館・公民館などをお借りし、地域のみなさんの協力を得て稽古しています。

福岡を中心に世界で活躍している指導者(池脇晋輔さん)はいつも、技術が上手くなることだけを目指すのではなく、和太鼓を通して心身の育成や日本人として一番大切な【和】【輪】の文化・精神性、人としての在り方・生き方をわたしたちに伝えてくださいます。

4月に開催された「大藤まつり」(上高場区)では、オープニングで初めてのステージ出演し、地域のみなさんに大変喜んで頂きました。次回は、6月に開催される町内の「産業フェスタ」に出演予定です。そして、【和奏】の団名の通り、【和】を【奏】することで、わたしたちの演奏や、和太鼓に向き合う姿を通して、地域のみなさんに喜んでいただき、地域活性化の一助になればと思っています。これからどうぞ応援をよろしくお願いいたします！

Q. 稽古や地域の皆さんの前で演奏して、どのよう感じましたか？

A. 一生懸命にみんなと稽古ができて楽しいです。筑前町の皆さんを元気にできたらいいなと思っています。(小学生)

Q. 会に入るきっかけを教えてください。

A. 弟と妹が始めたので一緒に入団しました。最初は嫌な気持ちもありましたが、みんなと稽古しているうちにどんどん楽しくなり、今は大好きです！(中学生)

Q. チームの雰囲気を見せてください。

A. わたしたち大人が子どもたちからリズムなどを教えてもらうことも多く、年齢関係なく、お互いに尊敬し、高め合える仲間です。(団員)



朗読ボランティア団体と筑前町視覚障害者の会の交流会

4月26日(金)に音訳活動をしている朗読ボランティア団体(ちくぜん虹の会とアイアイフレンズ)と筑前町視覚障害者の会の交流会がありました。

町の広報紙(「広報ちくぜん」や「社協だより」、「議会だより」、「ボランティアセンターだより」)を声の情報として届けているボランティアのみなさんと、音訳CDを聴いているリスナーが1年に1回集まり、それぞれの思いや感謝の言葉を伝え合いました。去年から活動しているボランティアさんからは、「私の声の情報を喜んで聴いていただきうれしいですね」や、リスナーからは、「毎回楽しみに町の情報を聴いて、多くの情報が知れています。感謝です!」と伝え合い、お互いの笑顔につながっている活動を改めて感じる交流会でした。最後に、「もっと多くの人に音訳CDの存在を知ってもらい、必要な人に利用してもらえるとうれしいです。」とみなさん熱く言葉にしていました。

筑前町ボランティアセンターでは、音訳CDを必要としている人がいましたら、連絡をお待ちしています。(電話:0946-42-4555)



★音訳とは、視覚に障がいがある人へ「文字」などを「音」にして情報を伝えることです。

令和5年度センターの活動報告

コロナウイルス感染症が5類に移行されてから、活動やボランティア登録が増えました。

特に、高校生ボランティアが活動に参加する機会が多くあり、若い世代のボランティア活動に対する興味や関心が広がっていると感じた年でした。そして、事前登録災害ボランティア養成に取り組み、もしもに備えた災害や防災への準備を今後もセンターが担っていきます。

ボランティア登録数

団体	19団体(239人)
個人ボランティア	42人
事前登録災害ボランティア	8人

ボランティア依頼及び活動分野

活動分野	件数
障がい分野	13件
高齢分野	11件
子ども分野	31件
地域活動分野	11件
合計	66件



ピースキャンドル手伝いin大刀洗平和記念館
朝倉光陽高校生ボランティア

筑前町ボランティアセンター

福岡県朝倉郡筑前町篠隈373

コスモスプラザ福祉館(筑前町社会福祉協議会内)

TEL:0946-42-4555 FAX:0946-42-5941

(ボランティアコーディネーター 林)

ホームページアドレス <https://www.chikuzen-shakyo.or.jp/vc/>

メールアドレス chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp

発行編集/社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

